



株式会社ツムラ【証券コード：4540】

漢方のツムラ “伝統と革新”

代表取締役社長 加藤 照和

# 本日の内容

- ツムラの事業概要
- 漢方について
- 漢方薬の市場について
- 成長戦略
- 株主還元

創 業	1893年（明治26年）4月10日
本 社	東京都港区赤坂二丁目17番11号
代表者	代表取締役社長 加藤 照和
資本金	194億87百万円（2017年3月31日現在）
売 上	1,149億54百万円（2017年3月期）
事業内容	医薬品（漢方製剤、生薬製剤他）の製造販売
従業員数	3,331名（2017年3月31日現在）

バスクリン事業は、2008年に売却

# 当社の原点

1893年(明治26年) 津村順天堂創業



創業者：津村重舎（初代）

信念  
良薬は必ず売れる



津村順天堂本店（創業当時）  
東京都中央区日本橋

## 経営理念

# 自然と健康を科学する

ツムラグループが追い求めていくべき、不変の基本的価値観

## 企業使命

# 漢方医学と西洋医学の融合により 世界で類のない最高の医療提供に貢献します

社会から必要とされ続ける存在意義（目的）



# ツムラが製造販売する漢方製剤

➤ 日本では148品目の漢方製剤に健康保険が適用されています

## 漢方製剤

ツムラは**129品目**の漢方製剤を製造・販売しています。

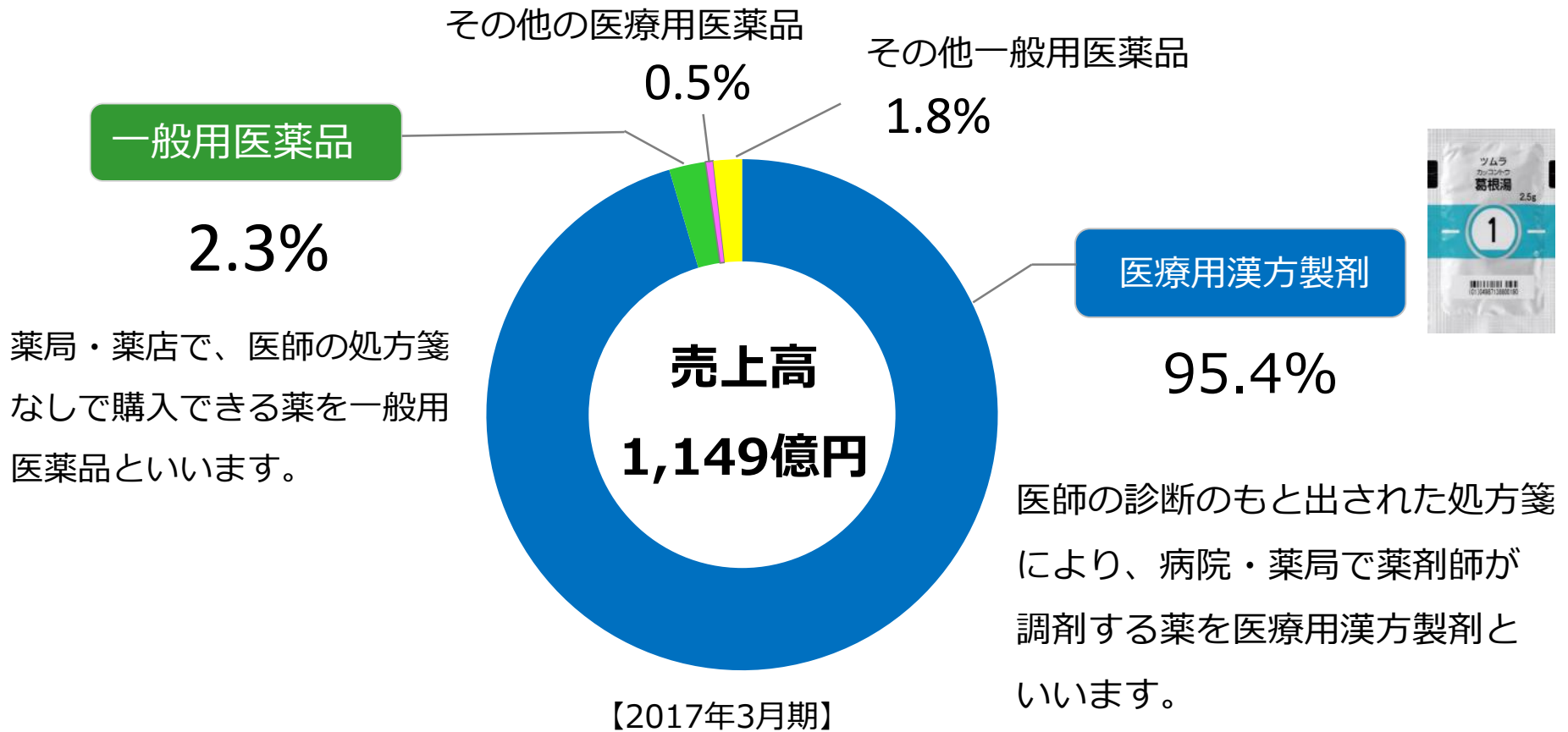
## 生薬

漢方製剤の生産にあたり**119種**の生薬等を取り扱っています。



# 連結売上高構成比率

➤ 売上の約95%を医療用漢方製剤が占めています

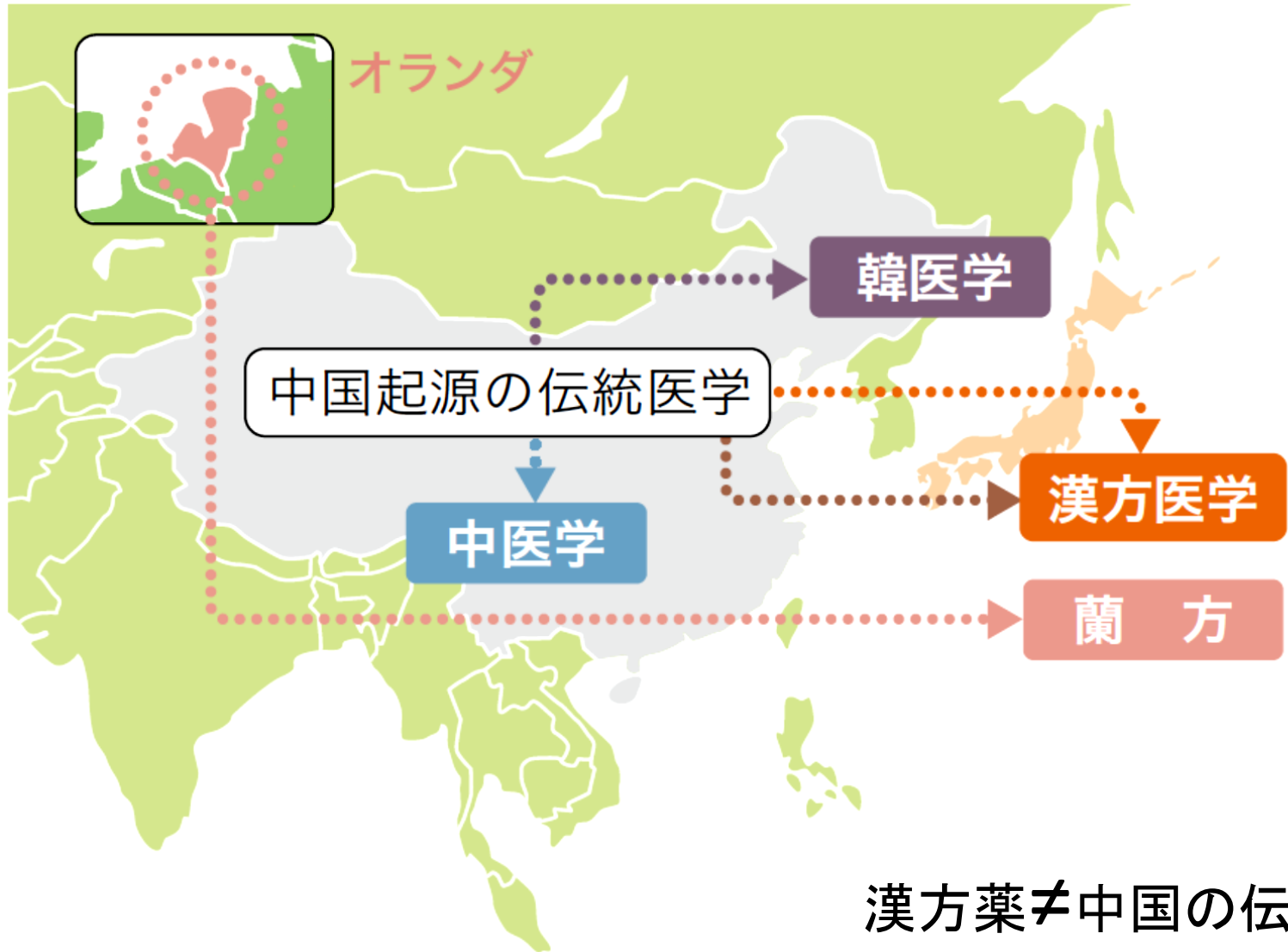


# 漢方について





# 漢方薬＝日本の伝統薬



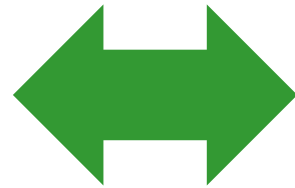
漢方薬≠中国の伝統薬

# 漢方の組成

➤ 現在も、古典に則り生薬を配合しています



太陽病項背強几几無汗惡風葛根湯主之方一  
 葛根 四兩 麻黄 三兩 桂枝 二兩  
 生薑 切 三兩 甘草 炙 二兩 芍薬 二兩  
 大棗 十二枚  
 右七味以水一斗先煮麻黄葛根減二升去白沫内諸藥煮取三升去滓温服一升覆取微似汗餘如桂枝法將息及禁烏諸湯皆倣此。



1800年前に編さんされた「傷寒論」に記載されている葛根湯の解説部分

添付文書(2007年8月改訂)より

**1 ツムラ葛根湯**  
 エキス顆粒(医療用) TJ-1  
 出典：傷寒論

■**効能又は効果**  
 自然発汗がなく頭痛、発熱、悪寒、肩こり等を伴う比較的体力のあるものの次の諸症：  
 感冒、鼻かぜ、熱性疾患の初期、炎症性疾患(結膜炎、角膜炎、中耳炎、扁桃腺炎、乳腺炎、リンパ腺炎)、肩こり、上半身の神経痛、じんましん

〈参考：証に関わる情報〉 使用目標＝証  
 比較的体力のある人で、炎症性あるいは疼痛性疾患の初期、あるいは慢性疾患(効能・効果参照)の急性増悪期に用いる。  
 1)感冒などの熱性疾患では、初期で悪寒、発熱、頭痛、項背部のこわばりなどがあって、自然発汗を伴わない場合。  
 2)疼痛性疾患では局所の疼痛、腫脹、発赤などを訴える場合。  
 3)患部が発赤、腫脹、強い痒痒感を伴う場合。

■**組成**  
 本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.75gを含有する。  
 日局カッコン(葛根).....4.0g 日局ケイヒ(桂皮).....2.0g  
 日局タイソウ(大棗).....3.0g 日局シャクヤク(芍薬).....2.0g  
 日局マオウ(麻黄).....3.0g 日局ショウキョウ(生姜).....2.0g  
 日局カンゾウ(甘草).....2.0g

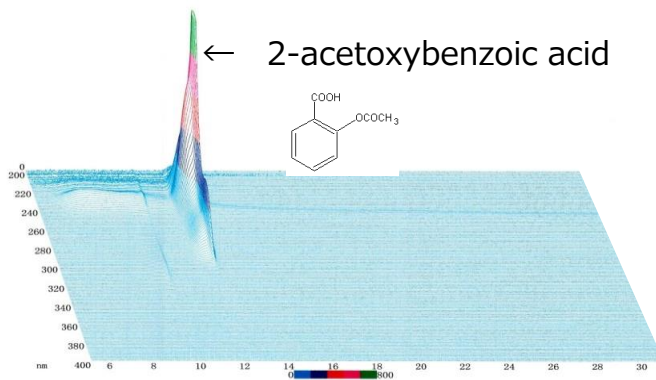
■**用法・用量** 通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。



ツムラ葛根湯エキス顆粒(医療用)のカタログの一部

# 漢方薬と合成薬の違い

合成薬A（アセチルサリチル酸）の  
3D-HPLC Pattern

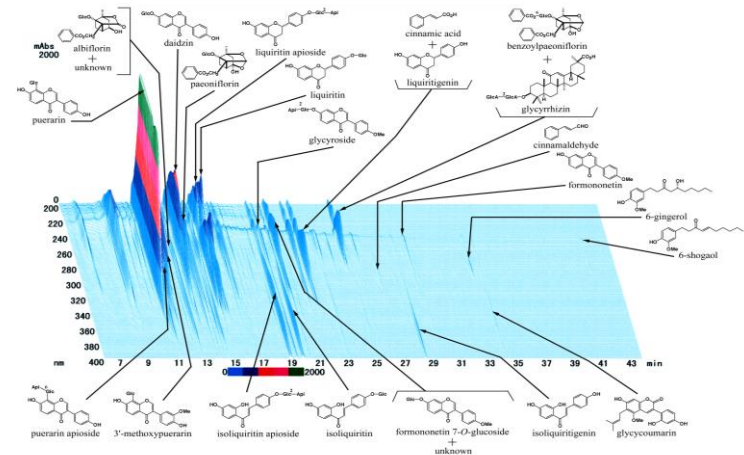


化学合成された有効成分から

作られる**西洋薬**の特徴

➡ **単一成分**

漢方薬（葛根湯）の  
3D-HPLC Pattern



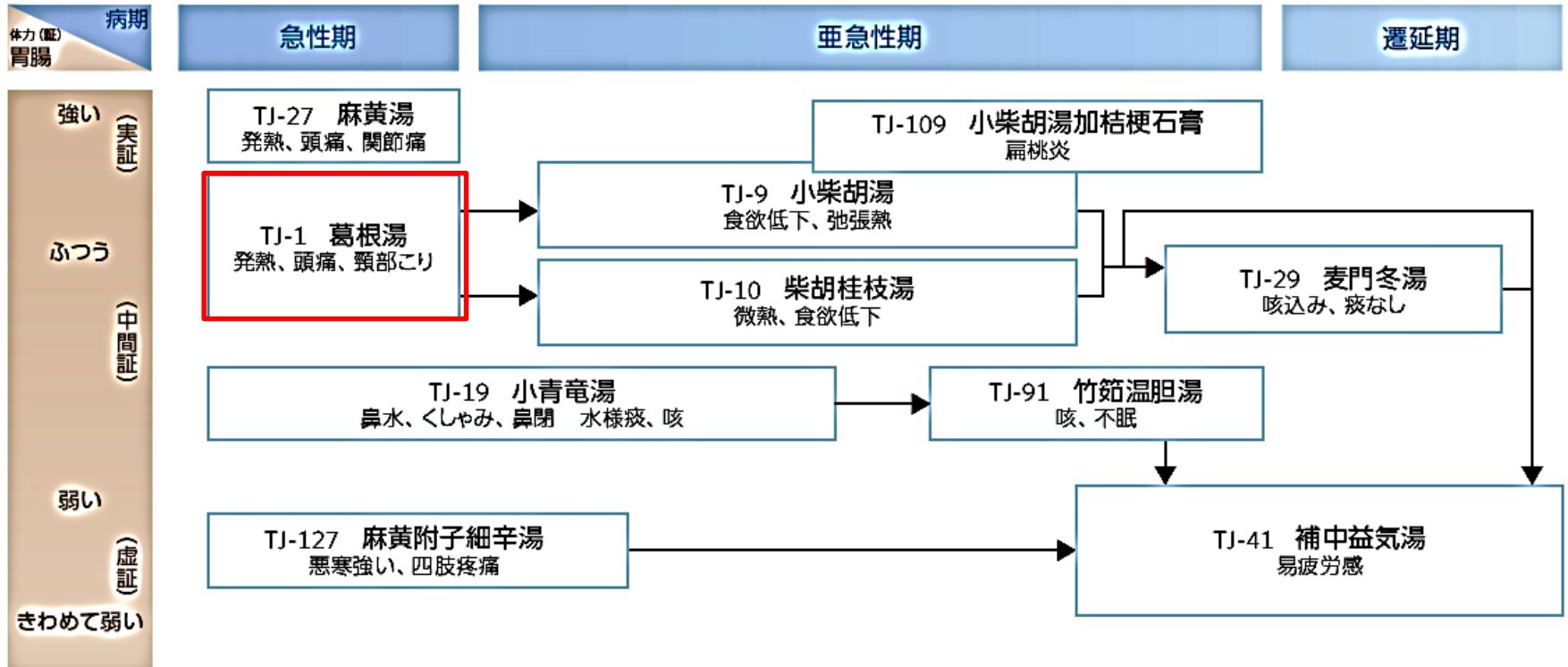
複数の生薬を組み合わせる

作られる**漢方薬**の特徴

➡ **混合成分・多成分**

# 漢方薬の処方(風邪)

➤ 風邪の場合、患者さまの状態に合わせて様々な薬が処方されます



監修 松田邦夫 松田医院院長

漢方薬にも副作用があります

同病異治

異病同治

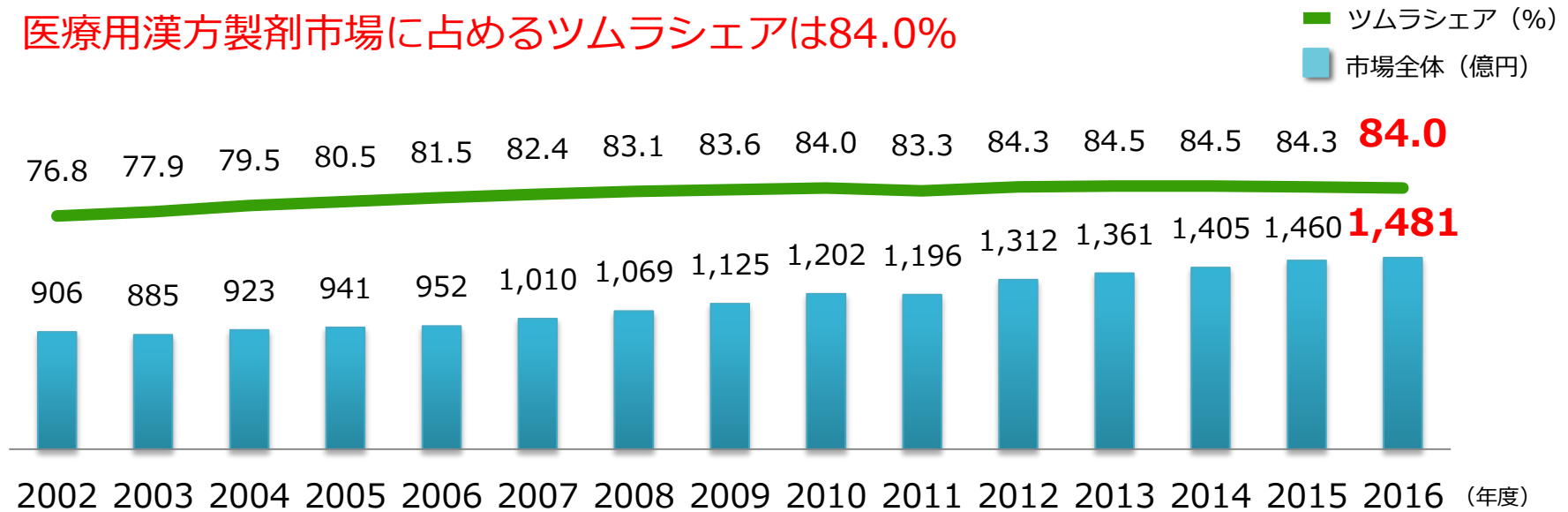


# 漢方薬の 市場について



# 医療用漢方製剤の国内市場動向

- 医療用漢方製剤全体の市場は、薬価ベースで1,481億円（医療用医薬品市場は約10兆円）
- 医療用漢方製剤市場に占めるツムラシェアは84.0%



Copyright © 2017 QuintilesIMS. 「JPM2003年3月MAT ~ 2017年3月MAT」をもとに作成 無断転載禁止

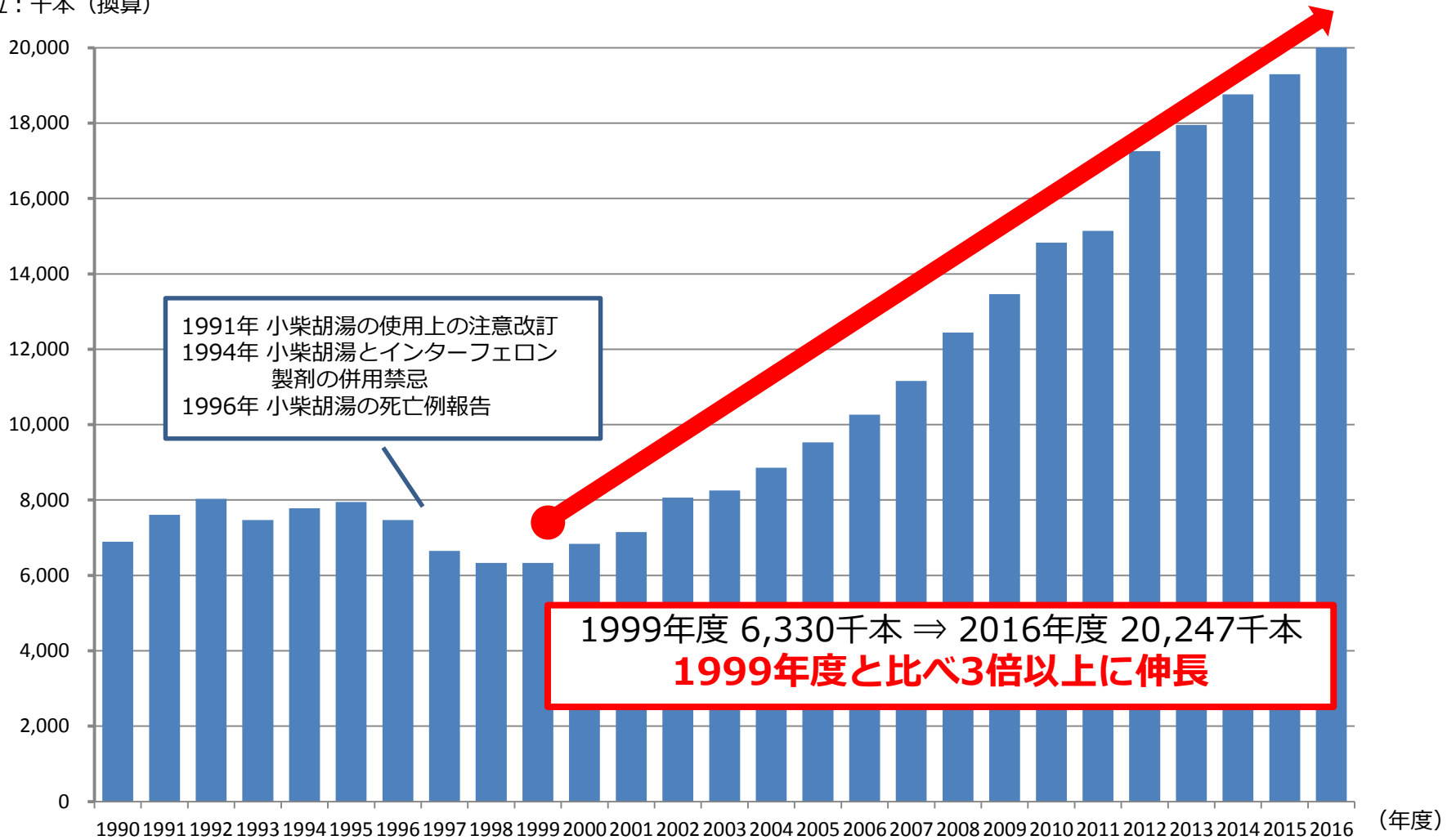
## 薬価改定の状況

	1998年	2000年	2002年	2004年	2006年	2008年	2010年	2012年	2014年	2016年
ツムラ漢方	-8.6%	-3.4%	-3.6%	-2.8%	-4.2%	-3.3%	-4.5%	-3.8%	-3%*	-3%
医薬品全体	-9.7%	-7.0%	-6.3%	-4.2%	-6.7%	-5.2%	-5.75%	-6.00%	-5.64%*	-5.57%

\* 消費税対応分を含まない改定率  
消費税対応分を含む改定率はツムラ-0%、医薬品全体-2.65%

# 医療用漢方製剤129品目出荷本数推移

単位：千本（換算）



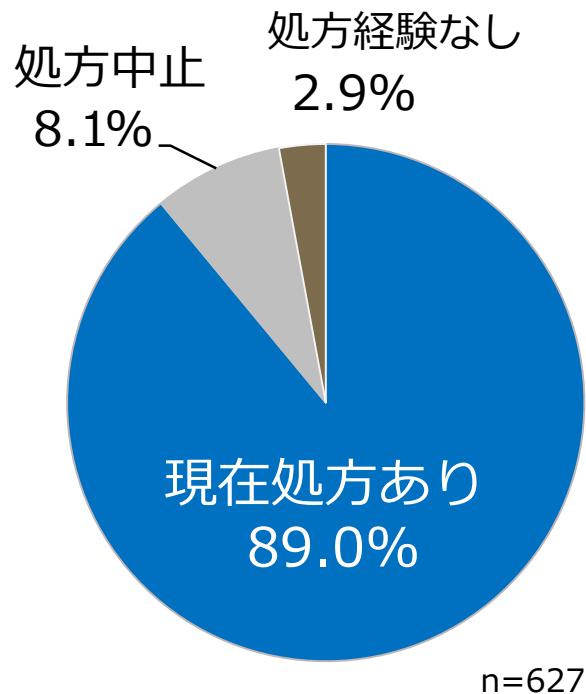
1991年 小柴胡湯の使用上の注意改訂  
 1994年 小柴胡湯とインターフェロン製剤の併用禁忌  
 1996年 小柴胡湯の死亡例報告

1999年度 6,330千本 ⇒ 2016年度 20,247千本  
**1999年度と比べ3倍以上に伸長**

※出荷本数の1本は9週間分の処方量

# 医師による漢方の処方状況

## 漢方処方の有無



### ◆漢方処方の基本的立場

- 一部の疾患で漢方薬を第一選択 : 59.0%
- あくまで西洋薬の補完 : 39.8%
- 西洋薬治療の副作用軽減のため : 0.7%

### ◆漢方処方の理由上位3項目

- 西洋薬では効果のない症例で漢方が有効 : 56.6%
- 患者の要望 : 42.8%
- エビデンス\*が学会などで報告された : 34.1%

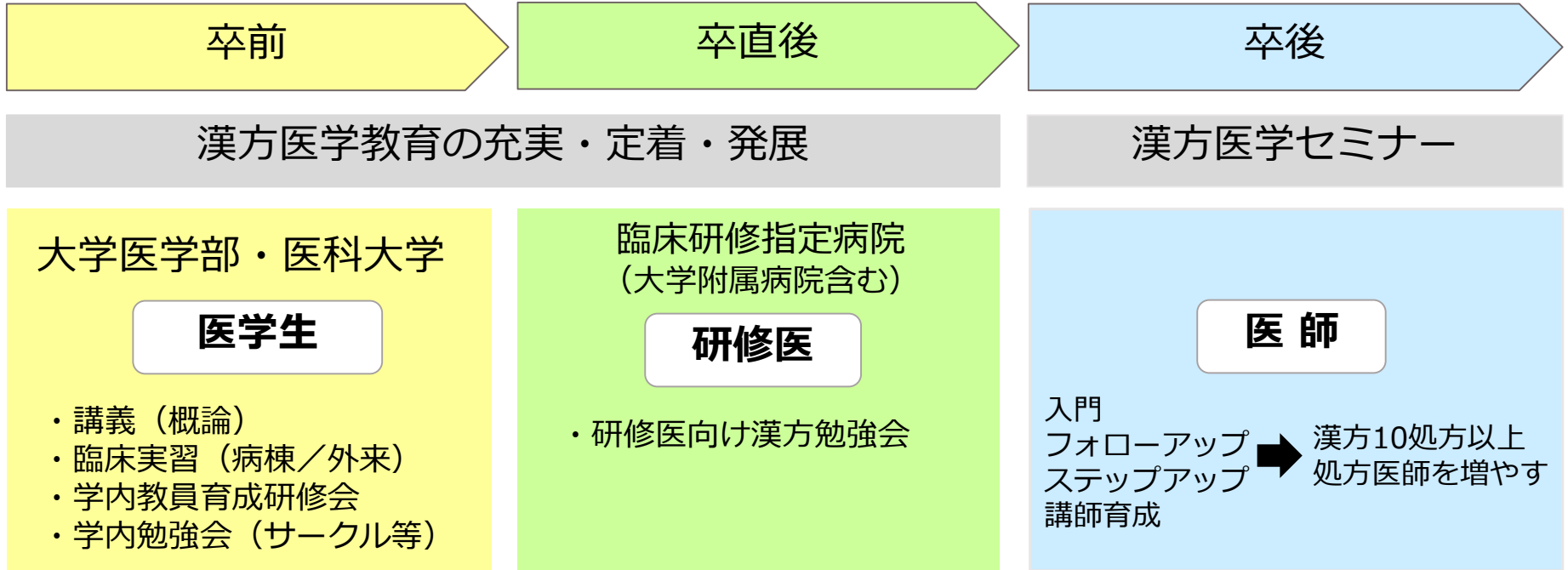
出典：漢方薬処方実態調査2011  
 (日本漢方生薬製剤協会調査)

\*エビデンス：科学的根拠



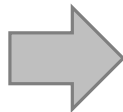
# 医師等への「漢方医学教育」支援

## ➤ 卒前・卒直後・卒後の一貫した漢方医学教育支援



### 医学教育の外部環境変化

医学教育の質的向上を伴う  
臨床実習数の増加

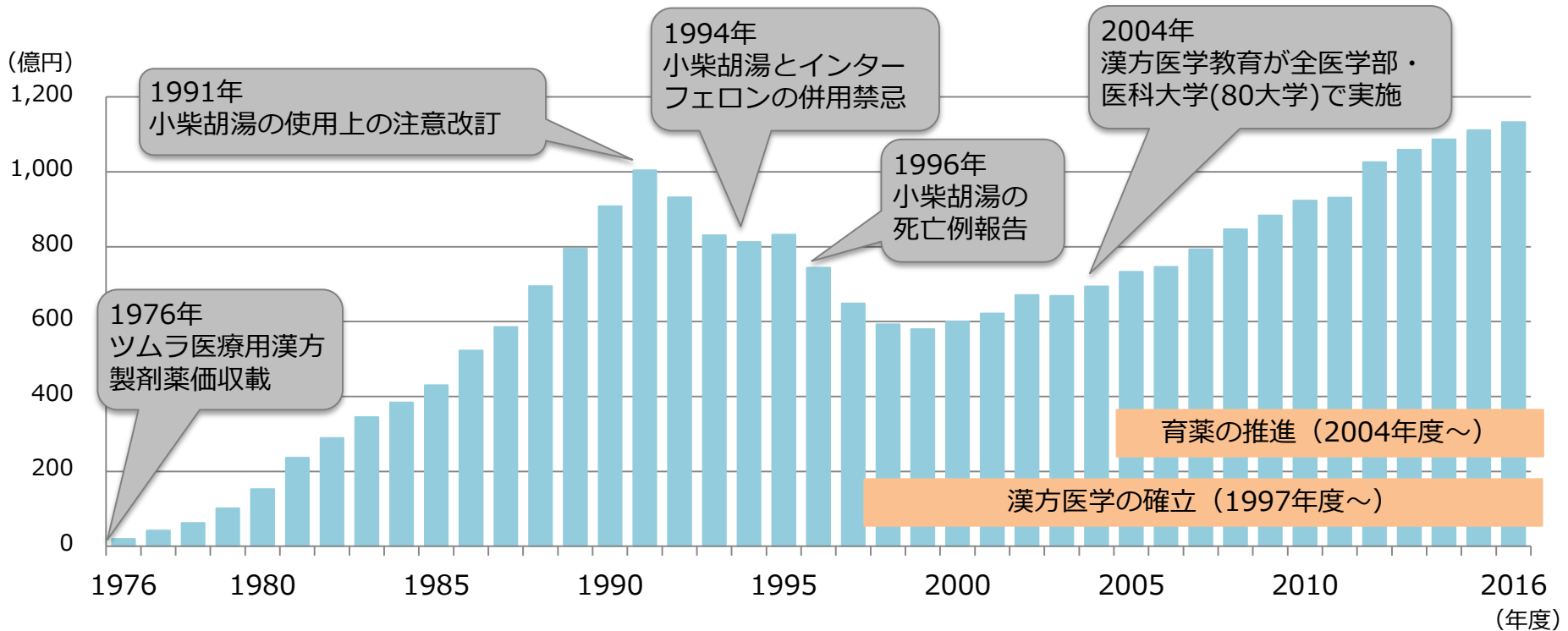


全国の大学医学部・医科大学のすべて  
において漢方臨床実習が実施されている

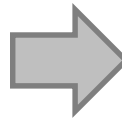


# 売上の推移と主な出来事

## 医薬品の売上高推移（ツムラ単体）



文部科学省、医学教育モデル・コア・カリキュラム  
 (2001年3月発表、2002年度導入)  
 ・和漢薬を概説できる



文部科学省、医学教育モデル・コア・カリキュラム  
 (2016年度改訂版)  
 ・漢方医学の特徴や、主な和漢薬（漢方薬）の適応、  
 薬理作用を概説できる。

# 成長戦略



# 長期経営ビジョン実現へのロードマップ



	2012年度	2013年度	2015年度	2015年度	2016年度	2017年度予想	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度目標
売上高 (億円)	1,056	1,100	1,104	1,126	1,149	1,207	→			1,350
営業利益 (億円)	231	224	194	198	159	176				190
営業利益率	21.9%	20.4%	17.6%	17.6%	13.8%	14.6%				14%

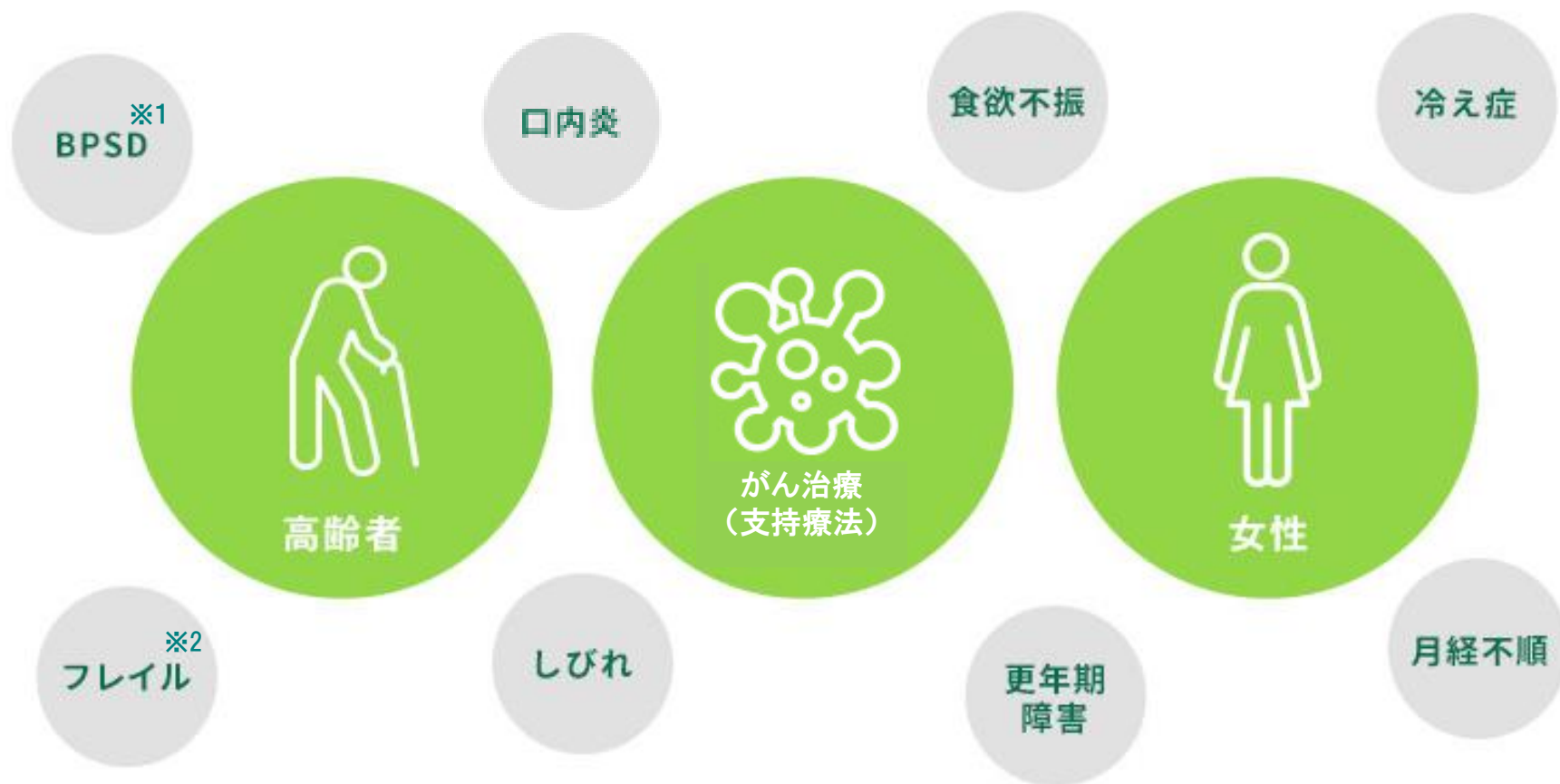
# 戦略課題

- 1 漢方市場の拡大と  
安定成長
- 2 収益力の継続強化と  
キャッシュ・フローの最大化
- 3 中国における  
新規ビジネスへの挑戦



# 重点3領域を中心に安全性・有効性のエビデンス構築

## ▶ 添付文書の充実、治療ガイドラインへの掲載

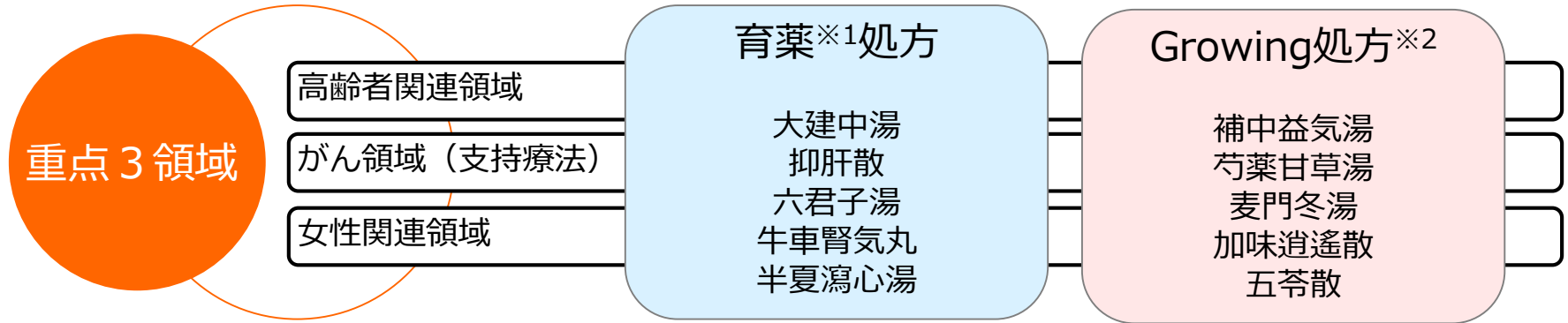


※1 BPSD : 認知症の行動・心理症状

※2 フレイル : 高齢者が筋力や活動が低下している状態 (虚弱)

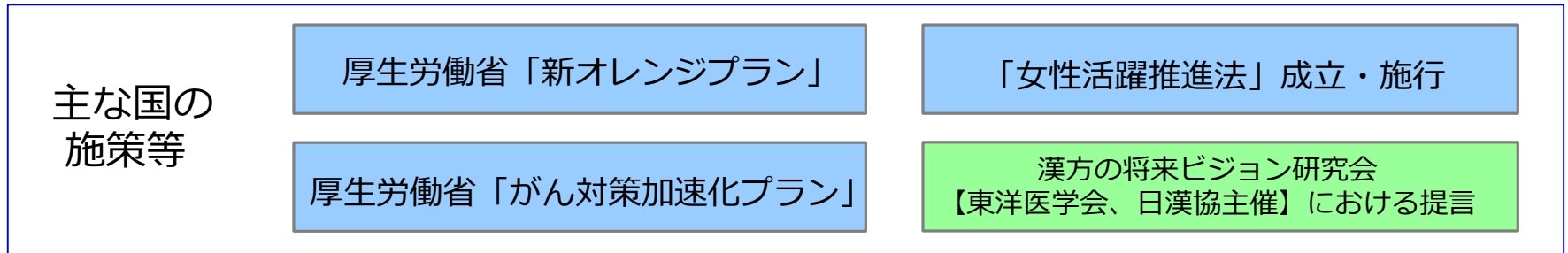


# 育薬処方とGrowing処方の拡大に向けて



## アンメットメディカルニーズ等に重点化

**BPSD、フレイル、がん支持療法（術後機能障害・食欲不振・口内炎など）、更年期障害など**

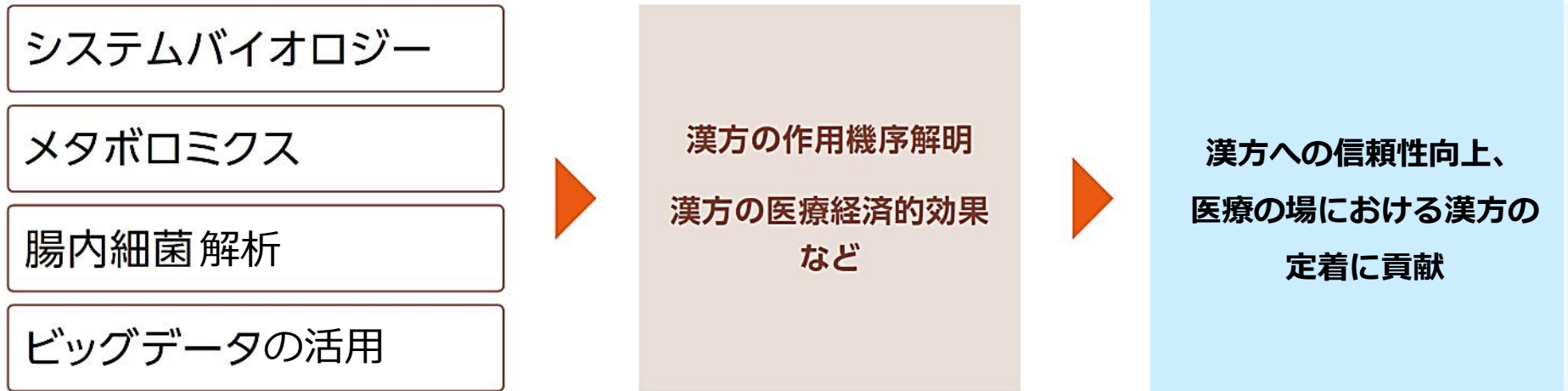


※1 近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス（科学的根拠）を確立すること。

※2 育薬5処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築（安全性・有効性データ等）により治療ガイドライン掲載を目指す成長ドライバー。

# エビデンス構築の新機軸

## ▶ 新技術を活用し、漢方薬の研究を加速



**システムバイオロジー**：生体機能を個々に分解するのではなく、統合的に理解するために、AI（人工知能）、生理学や生物工学を利用して、さまざまな役割を持つ組織や遺伝子などがどのように関わりあうかを解明する生物学のアプローチの一種

**メタボロミクス**：温度や光などの環境変化や食事、薬物摂取などの外部刺激によって、生体内に存在する代謝物質の種類や濃度に変化が起こる。これら代謝物質を、質量分析計などを使って分析・解明する手法のことであり、病気の診断などに応用されている研究領域

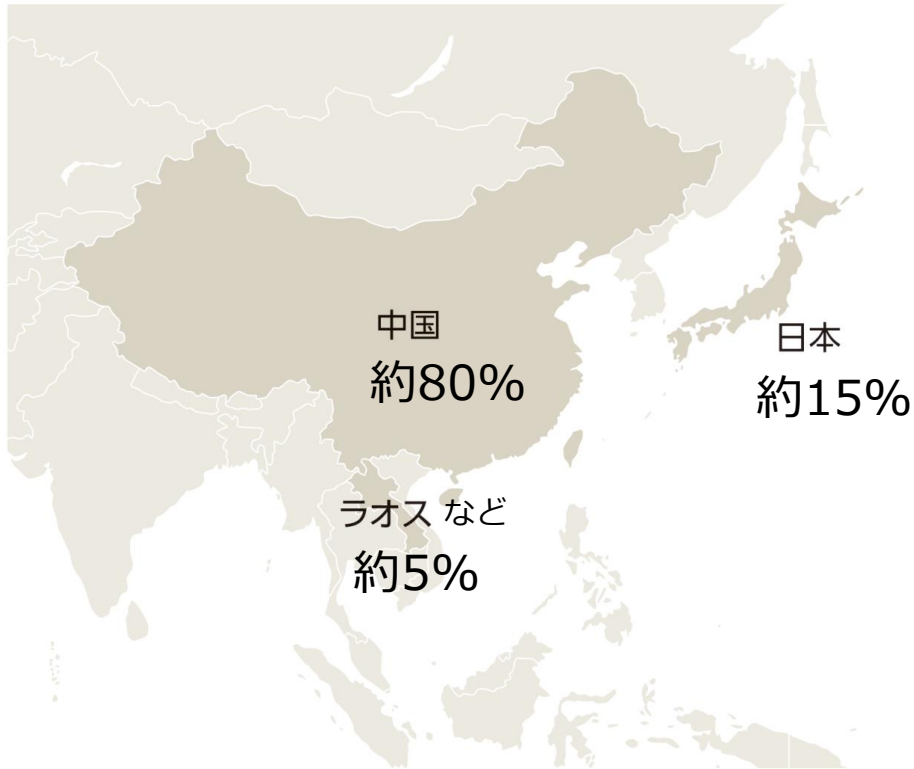
**腸内細菌解析**：腸内には、多種多様な微生物、細菌などが存在しており、これら細菌などを解明することにより、その由来などを調べる手法、技術

**ビッグデータの活用**：膨大な日常の医療データを活用した疫学研究から行う医療の質評価、医療経済分析など

# 戦略課題

- 1 漢方市場の拡大と  
安定成長
- 2 収益力の継続強化と  
キャッシュ・フローの最大化
- 3 中国における  
新規ビジネスへの挑戦

# 生薬の調達地



## 中国 今後も主たる調達国

- 農業の近代化・生産性向上
- 栽培化研究
- 自社管理圃場の拡大

## 日本 国内栽培の強化

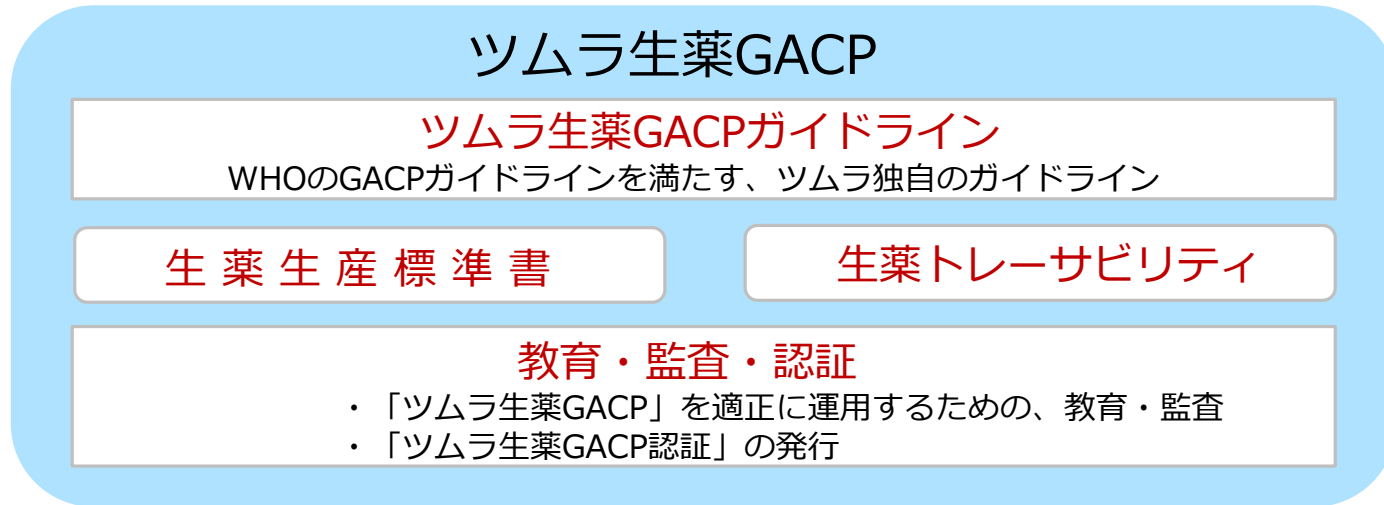
- 契約栽培団体
  - 夕張ツムラ（北海道）
  - 岩手薬草生産組合（岩手）
  - JAあがつま（群馬）
  - JAながみね（和歌山）
  - ヒューマンライフ土佐（高知）
  - あさざり薬草合同会社（熊本）

## ラオスなど 栽培試験から自社農場での栽培

- 現地法人（LAO TSUMURA CO.,LTD.）

# 生薬調達の方

## ① ツムラ生薬GACPによる生薬生産の管理



## ② 当社管理のもと品質・数量・価格において、安定的・計画的に調達できる栽培拠点（自社管理圃場\*）の拡大

- ・ 中国国内における自社管理圃場の拡大＜中国における栽培エリアの拡大＞
- ・ 日本、ラオスにおける栽培拠点の拡大＜栽培(調達)国の複線化＞

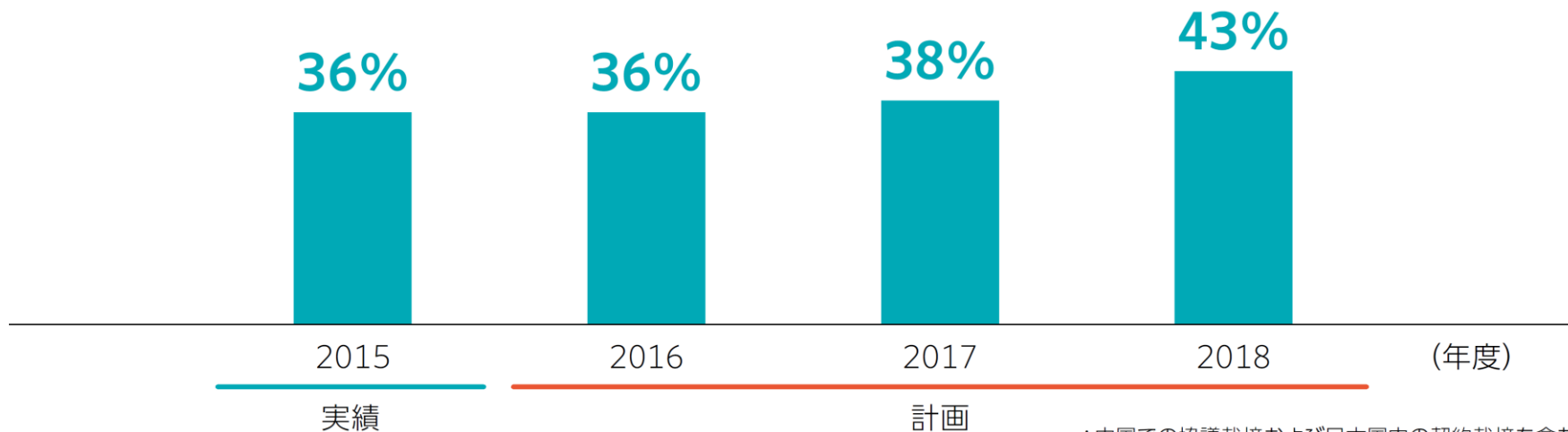
\* 「自社管理圃場」：一定規模の栽培面積を有し、当社の直接的な栽培指導ができ、栽培にかかるコストの把握とそれに基づく生薬の購入価格設定が可能な圃場



# 価格安定と品質保証強化を実現する生薬調達改革

## 自社管理圃場の継続拡大

総手配数量に対する自社管理圃場の数量比率



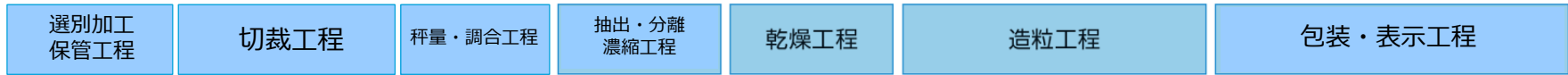
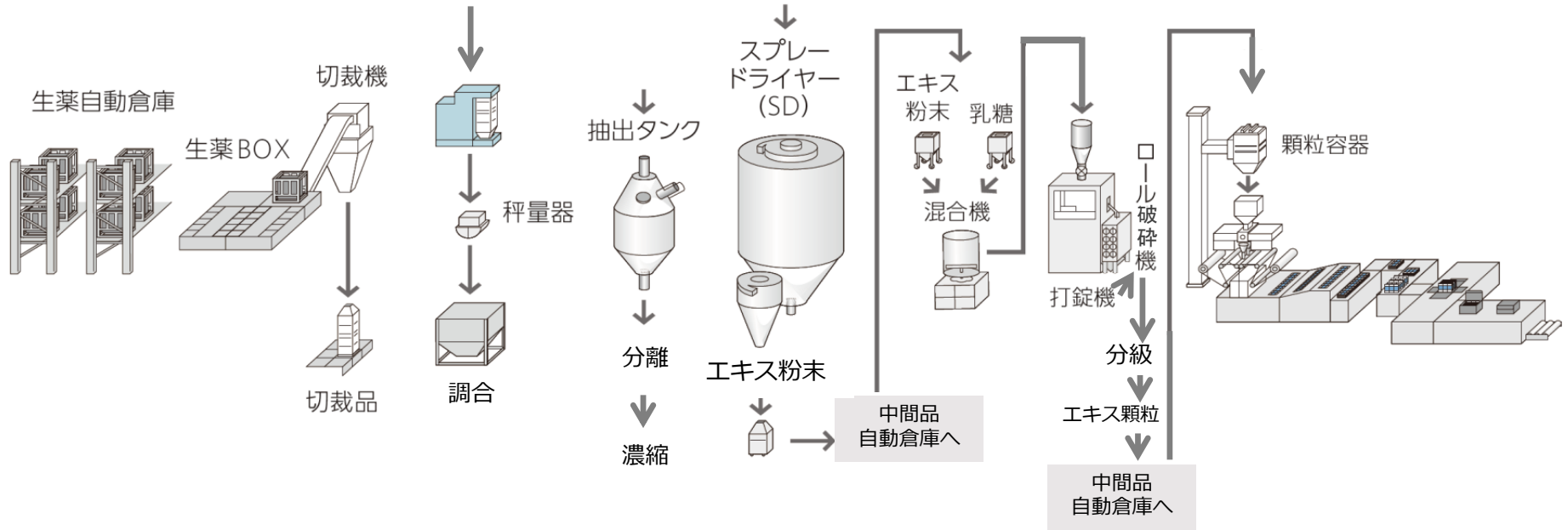
\*中国での協議栽培および日本国内の契約栽培を含む

## 2021年度に自社管理圃場の数量比率50%を目指す

競争原理に基づく購入体制の強化および合理化

生薬品質の追求・安全性担保体制のさらなる強化

# 漢方製剤の製造工程



エキス粉末

タブレット 顆粒



打錠・破碎・分級



# 戦略課題

- 1 漢方市場の拡大と  
安定成長
- 2 収益力の継続強化と  
キャッシュ・フローの最大化
- 3 中国における  
新規ビジネスへの挑戦

# 中国事業における新規ビジネスの挑戦

## 1. 刻み生薬（飲片）事業への参入

- > 100%子会社深圳津村による中国における刻み生薬（飲片）の外販
- > 原料生薬の相互供給・加工等で天津盛実百草と協力

## 2. 中薬配合顆粒（単味生薬エキス顆粒）事業への参入

- > 上海医薬集団の子会社である上海市薬材との間で合併会社を設立
- > 深圳津村、盛実百草を中心とした原料生薬調達体制の構築

## 3. 中薬事業への参入

- > 中国平安保険グループとの資本業務提携、合併会社の設立

### 【資本業務提携の概要】

当社及び中国平安保険は、中国における中薬産業の更なる発展を推進して、中国国民の医療と健康に貢献するとともに中薬の品質標準及び生薬栽培から最終製品までを網羅するビジネスモデルを構築する。また同時に、中国国内の生薬の品質向上や生薬資源の保護に寄与しつつ、当社の生薬原料の安定調達にもつながることから資本業務提携締結。当社グループの事業成長への投資であり企業価値向上に寄与するものである。

# 中国事業における製品イメージ

## 飲片 (刻み生薬)

原料生薬

切裁工程など

飲片



## 中薬配合顆粒

原料生薬

切裁工程などを経て「飲片」に

抽出・分離・濃縮

SS  
製造工程  
省略

顆粒



(イメージ)



(イメージ)

## 中医学に基づくエキス製剤 (中薬・中成薬)

原料生薬

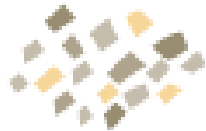
上記同様、飲片

秤量・調合

抽出・分離・濃縮

SS  
製造工程  
省略

顆粒などの製剤



(イメージ)



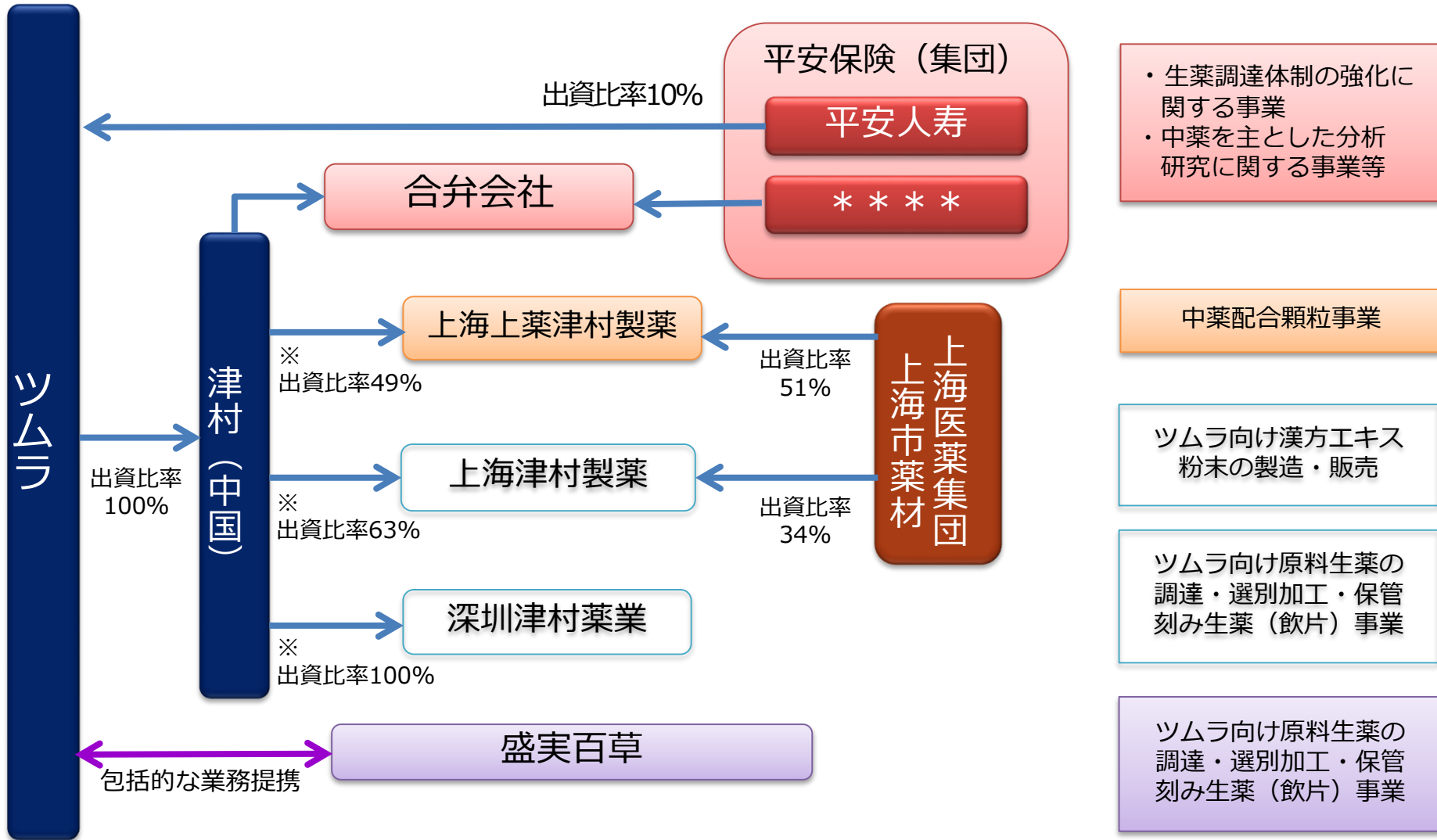
(イメージ)



(イメージ)



# 中国事業の将来概要図



- ・ 生薬調達体制の強化に関する事業
- ・ 中薬を主とした分析研究に関する事業等

中薬配合顆粒事業

ツムラ向け漢方エキス粉末の製造・販売

ツムラ向け原料生薬の調達・選別加工・保管  
刻み生薬（飲片）事業

ツムラ向け原料生薬の調達・選別加工・保管  
刻み生薬（飲片）事業

※現在の当社から各社への出資分が、津村（中国）からの出資に変更予定

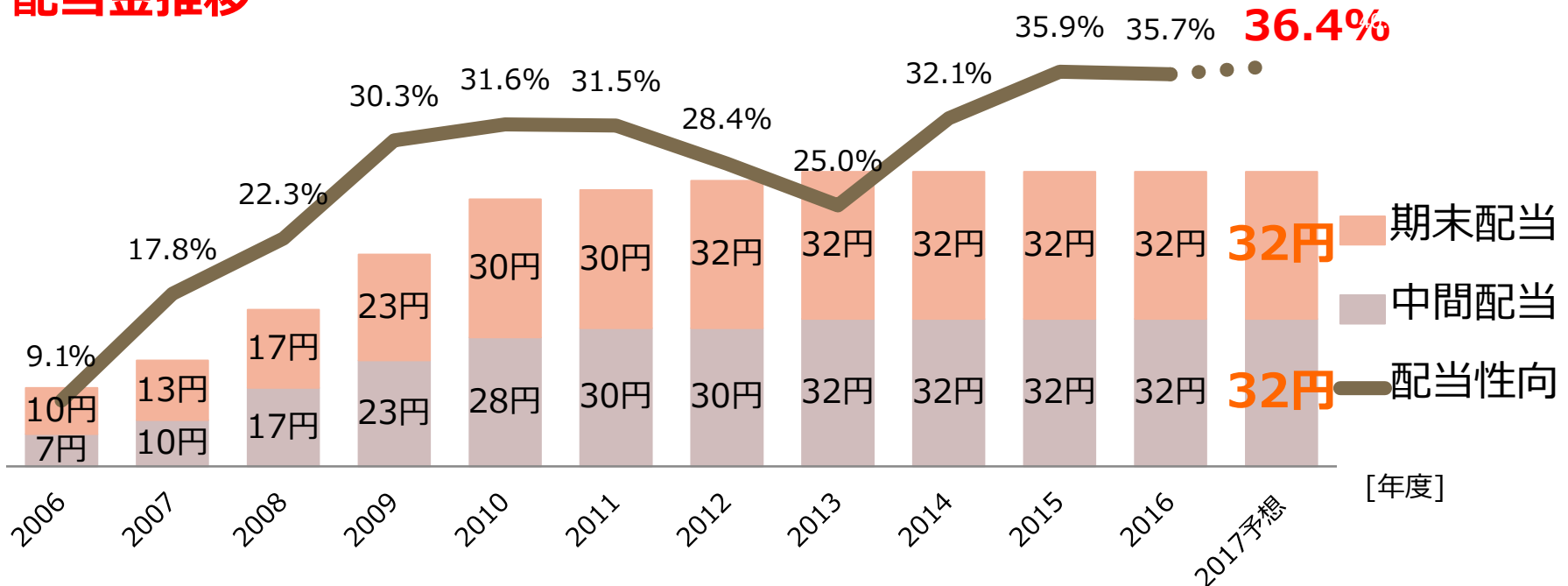
# 株主還元



# 株主還元方針について

- “漢方”が持続的に発展・成長するための事業投資を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施する
- 最適資本構成の検討・見直しを踏まえた株主還元を努め、市場動向等を総合的に勘案したうえで、機動的な自社株式の取得を実施する

## 配当金推移



# 株主優待について

➤ 2017年度より株主優待を実施します



対象となる株主	優待内容	
100株以上を 継続して3年以上保有	入浴剤バスハーブ 小 (210ml) ×1本 約21回分	ツムラ漢方記念館 見学会のご招待 (年2回実施、抽選で各40名様)
1,000株以上を 継続して3年以上保有	入浴剤バスハーブ 大 (650ml) ×1本 約65回分	

本資料に関するお問い合わせ先

---

株式会社ツムラ  
コーポレート・コミュニケーション室  
I R推進グループ  
TEL:03-6361-7101

### 見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。